



©SUSUMU.MATSUSITA. ENTERPRISE

# 広 報 地域安全ニュース

## くま

No. 435  
発行所  
今治地区防犯協会  
今治警察署  
☎34-0110  
FAX31-7001

### 「パートナーからの暴力で悩んでいますか？」



夫婦や内縁関係など、親しいパートナーからの暴力を「ドメスティック・バイオレンス (DV)」と言います。被害者の大半は女性です。たとえ夫婦間・内縁間であっても暴力は許されるものではありません。

暴力は繰り返され、エスカレートする傾向があり、子どもにも悪影響を及ぼします。もし、被害にあっていたら、勇気を出して第三者の助けを求めましょう。

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 (DV防止法) では、暴力や脅迫を受けたDV被害者を守る「保護命令」制度があります。

### 《保護命令の種類》



加害者に対して

- 被害者への接近を6か月間禁止
- 被害者に面会要求や電話・メールをすることを6か月間禁止

○被害者の子、親族等への接近を6か月間禁止

○被害者と同居している場合、その住居から2か月間の退去を命令

(違反すると、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金)

### ◆早期相談が最良の方法

夫などの親しいパートナーから暴力を振るわれたときは「ひとりで悩まず」早めに相談してください。

秘密は厳守します。安心してご相談ください。

### 『DVはひとりで悩まず まず相談』

・警察本部警察総合相談室 089-931-9110

#9110

・今治警察署相談窓口 0898-34-0110

### 児童虐待では?と思ったときは...

児童虐待は、児童の心身の成長や人格の形成に重大な影響を与えるばかりでなく、悲惨な事件に発展する危険性があります。

児童虐待ではないかと思ったときは、最寄りの警察署 (交番、駐在所)、児童相談所、市町などの担当窓口に連絡しましょう。

### 児童虐待とは...

保護者がその監護する児童について、次の行為をすることをいいます。

虐待の種類	虐待の内容
身体的虐待	身体的に傷を負わせたり、生命に危険を及ぼすような行為 ・殴る、蹴る、叩く、つねる、やけどを負わす ・身動きできないように柱などに縛り付ける
精神的虐待	言葉による脅しや拒否的態度などで児童の心を傷つける行為 ・激しく罵倒する・大声で怒鳴りつけて恐怖を与える ・無視して口を利かない・侮辱して馬鹿にする
怠慢・拒否 (ネグレクト)	児童の心身の発達を妨げるような不適切な行為 ・食事を与えない・衣服を着替えさせない・入浴させない
性的虐待	児童にわいせつな行為をしたり、させる行為 ・児童への性交、性的暴行、性的行為の強要

あなたのご近所で、児童虐待ではないかと思われるようなことはありませんか？

# 泥棒に狙われない家にする



## できていますか？ 住まいの防犯

### 基本は戸締り

カギのかかっていない家は、泥棒にとって格好的です。

#### 対策

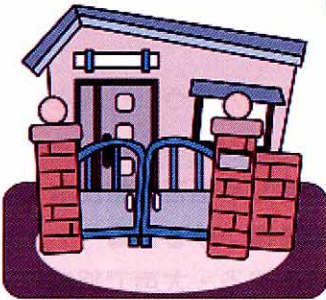


- 短時間でも出かける前は、必ず戸締りをする。
- 家にいるときも油断せず、玄関や人のいない部屋は戸締りをする。
- 合カギを郵便受けや植木鉢の下に置かない。

### 泥棒に狙われない家にする

泥棒は、人目に付かない場所を好みます。

#### 対策



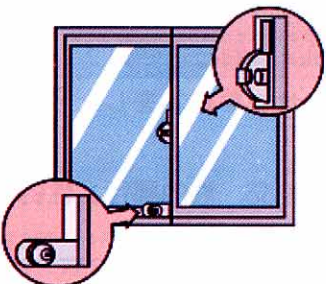
- 庭木を手入れしたり、塀を低くして、外からの見通しをよくする。
- 防犯灯やセンサー付きライトを取り付けて、暗がりなくす。

- バケツや箱など2階への足場になるものを置かない。
- 防犯カメラを設置する。

### ドアや窓ガラスの対策を

泥棒は、玄関のドアをこじ開けたり、窓ガラスを破ったりして侵入します。

#### 対策



- 玄関や窓に補助錠を付ける。
- 格子の入った窓ガラスを取り付ける、窓ガラスに防犯フィルムを貼る。

# 車上狙い

短時間でもキーを抜き、ドアロックを  
車内に金品などを  
置かないようにしましょう。

車の中にある金品を盗む「車上狙い」。主にパチンコ店やスーパーなどの駐車場や路上など、人気のないところで犯行に及びます。駐車中の車内を物色し、カバンなどを見つけると窓ガラスを石や工具で割り、ドアロックを解除して金品を盗んで逃走するのです。

### …対策…



- 車内にカバンや財布などの金品を放置しない。
- 深夜の駐車は、明るい場所を選ぶ。
- ハンドル固定ロックや車体の異常を察知するとサイレンが鳴る「警報装置」を装着するのも有効な手段です。

## こころの芽



少年サポーター  
柳原 丈 廣

### 『子どもを見守る力』

不登校の子どものお母さんが、「うちの子、今、昼夜逆転、部屋はマンガや雑誌が散らかっていて、頭は“がっそ”※。この子はどうなるんでしょうか？」と不安を訴えられます。

こういう場合、早く学校に行かそうとか、原因探しばかりを考えず、焦らないで見守ることが大切。では、その“見守る”とは？

- 子どもの変化に気づく（プラスの変化）
- 子どもを信じて待つ（時間を与える）
- 子どもに任せる（指示や禁止をしない）

以上のことを信頼できる人に相談しながら辛抱強く続けると、子どもは必ず自分と向き合い、自立に向かう時を迎えます。

※がっそ…髪の毛がぼさぼさであるさま。